



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

新年のご挨拶

—新型コロナウイルス感染流行下の 地域医療を支える—

院長 田中 滋己



あけましておめでとうございます。令和3年のお正月は新型コロナウイルスに

よるパンデミックのさなかで新年を迎えることになりました。皆様、見通しの立たない新型コロナウイルス感染との付き合いが長期間に及び、感染対策の遵守による疲弊や遠く離れて暮らすご家族への心配などで心労の絶えない方は少なくないと思います。

この約一年間に人々の日常は大きく制限を受け行動様式は変容を迫られてきました。中国で新しい感染症の地域流行が報告され、感染拡大が報じられた後は矢継ぎ早にクルーズ船や欧州など世界各地への拡大を示し、慎重な姿勢を示していたWHOが漸くパンデミックと認めた後は怒濤の如く世界中へ拡散しました。感染予防の標準予防策に国家間の差はありませんが、その運用には大きな差があり、人種やお国柄の生活様式なども加わって各国の感染状況はかなり異なってきました。日本は当初、国際的には感染対策の成功例として評価されていましたが、いつの間にか感染者数で中国を抜き、アジアでは感染者の多い国となっています。確かに収束の目処はたっていません。しかし、新型コロナウイルス感染流行のなか、ウイルス感染を予防しながら社会経済活動を行う術を学んで実践してきました。それはネットを利

用した遠隔会議であったり、テレワーク、通販や、飲食店のテイクアウトであったりします。欧州で行われたような完全な都市のロックダウンを行えば、かなり効果的に感染拡大を押さえ込むことは出来ます。しかし、そこまでしなくとも全国民が根気強く感染予防対策を遵守すれば、ある程度の社会活動、経済活動を続けていくことは可能です。

このような状況の中、私ども地域医療を担う医療機関の役割は患者様が安心して受診出来る医療体制を提供することに他なりません。新型コロナウイルス感染を心配するあまり、必要な受診、治療が遅れることがあってはならないのです。更に予防接種の遅れが招く深刻な健康被害や定期健康診断の受診控えによる悪性疾患対応の遅れなどが危惧されています。当院では地域の医療を支える数少ない総合病院として皆様に安心して医療サービスを受けていただけるよう、感染防止策を徹底し地域のニーズに応える医療体制を構築して参ります。

人類はスペイン風邪の時代には無かった科学的手法を得てパンデミックに立ち向かっています。人類の英知を信じ、本年が新型コロナウイルスパンデミック克服に向けた躍進の年となるよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



薬剤部長 **阿部 康治**【1961年】

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年男ということで、こうしてご挨拶の機会を頂きましたことを光栄に思っております。折角の機会なので自らが還暦を迎えるにあたって、その由来と意味を調べてみました。

そもそも還暦祝いとは中国で発祥し、日本には奈良時代に伝わったといわれています。当初は貴族階級だけのものでしたが、室町時代から江戸時代にかけて大衆にも広まったようです。還暦は十干十二支（じっかんじゅうにし）の組み合わせが60種類あることから、生まれて60年経つと一巡することに由来しています。十干って何？そんなの知らない！と思うかもしれませんが、要素の順列を指し、言い方をかえれば数字のようなものです。最近アニメで話題の「鬼滅の刃」の一般隊士の階級にも示されていたので甲（きのえ）から癸（みずのと）に至る十干を耳にされた方も多いと思います。この十干にはそれぞれに独特の性質があるといわれており、風水等にも応用されているようなので一度調べてみても面白いかもしれません。

私事ですが、最近になって運動不足解消のために山歩きを始めました。個人的に溪流フリークなので近場では御在所岳の裏道や竜ヶ岳（宇賀溪谷）などが特にお気に入りです。こうした大自然の中にいると五感と脳が刺激され、人生が豊かになった気がしています。60の手習いですが、今年も地球というジオパーク（大地の公園）を存分に楽しみたいと思います。

皆様もリフレッシュと健康増進のために無理しない山歩きをしてみませんか？



業務班長 **杉野 祐輔**【1973年】

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策に追われ、皆様いつもとは異なる雰囲気の中で新年をお迎えのことかと思います。

三重中央医療センターでは毎年1月号で「年男・年女」のコーナーがあるとのことで、原稿依頼を受けた時は「まさか自分が？」と驚き、また12年に1度の巡り合わせにありがたく感じるとともに「何を書けば良いのかな？」と悩むことになりました。

そこで、私が生まれた1973年はどんなことが起こっていたのか、少し調べてみました。すると、「オイルショック」、「トイレットペーパーの買いだめ行列」、「省エネ」などの言葉が出てきました。オイルショックは相当な国難だったようで、現状のコロナ禍に通ずるものがあるように感じました。またトイレットペーパーについては、昨年多くの方が難渋したことから記憶に新しいことかと思えます。これだけの年数を経ても同じようなことが起きているのは、まさに「時代は巡る」といったところでしょうか。なお省エネは懐かしい響きですが、現在でも普通に使用し、病院でも熱を発生するような機器（パソコン・照明など）を中心に省エネ型機器の配置を進めています。

今回、この文章を記載することで、「医療に貢献できる」という就職時に抱いた初心を思い出すことができました。新型コロナウイルス感染症対策で大変な状況ですが、少しでも穏やかな1年になることを祈るとともに、これからも初心を忘れずに業務に取り組みたいと思います。



入院係長 **岩井 真理子** 【1985年】

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

2021年は丑年で、年女ということで機会をいただきましたので一言ご挨拶申し上げます。

私は三重中央医療センターに勤務するようになって4年目になります。3年目から、電子カルテなどの医療情報システムに関すること、労災・診療収益に関する事務などを担当しています。日々、新しく学ぶことも多く努力する毎日を送っています。

院内の医療情報システムの管理・運用に関する医療情報部では、2018年11月に電子カルテを更新して2年目になります。現在は、次期システム更新に向けて、各部署からどういった部門システムがほしいかという要望案を集めています。提出期限は2021年3月末としています。現在、各部署から多くの要望案をいただいております。次期システム更新にける思いが伝わってきます。予算との兼ね合いがあり全ての部門システムを導入することは困難だと思いますが、各部署の希望を把握することで、現場の意見を反映したより良い医療情報システムの運用に繋げていきたいと思っています。必要だと思うシステムについては、どんどん要望案を提出していただければ幸いです。

今年もまだまだ新型コロナウイルスの影響を受けて大変な1年になるかと思いますが、皆様にとって健やかで素晴らしい1年となるよう祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



西6病棟 看護師 **小林 比奈子** 【1997年】

明けましておめでとうございます。今年は丑年、私は年女と言うことで三重中央だよりで紹介していただくことになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私は平成30年に看護師として就職し、今年の4月で4年目となります。私の勤務する西6病棟は消化器内科、糖尿病・内分泌内科であり、様々な疾患を持つ患者様がみえます。1・2年目は疾患や治療、看護についてわからないことや出来ないことが多く、失敗することもたくさんありました。3年目となり後輩看護師も増え、任される仕事が増えることでうまくいわずに悩んだり、重圧に負けそうになることもありました。しかし、患者様からの「ありがとう」や「あなたがいてくれてよかった」などの温かい言葉にいつも励まされ、これまで看護師を続けることが出来ました。まだまだ未熟な私ですが患者様に少しでも良い看護を行えるように、又いつも支えてくれている家族、友達、職場の皆様に感謝の気持ちを忘れず精一杯頑張っていきたいと思っています。

今、新型コロナウイルスによりこれまでにない大変な状況ですが、皆様の健康をお祈りします。本年度もよろしくお願い致します。

令和2年度 地域医療連携に関するアンケート調査



当院へ患者様をご紹介いただいている医療機関を対象に、地域医療連携に関するアンケート調査をさせていただきました。ご協力いただきました医療機関の皆様には御礼申し上げます。今回、アンケート結果がまとまりましたので、ご紹介させていただきます。

1. 対 象

過去、当院への紹介が1件以上あった医療機関600施設に発送
そのうち回答があった施設 220施設（36.7%）

2. 期間

令和2年9月1日から令和2年10月31日

3. 回答があった医療機関

A) 病院、診療所の別

病院	100床未満	12件	5.5%	診療所	無床	180件	81.8%
	100～199床	5件	2.3%		有床	11件	5.0%
	200床以上	12件	5.5%		計	191件	86.8%
	計	29件	13.2%				

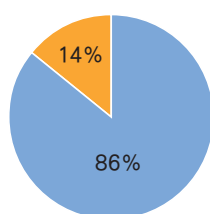
B) 診療所の専門分野（複数回答可）

標榜している科	施設数	比率	標榜している科	施設数	比率
内科	76	30.4%	小児科	6	2.4%
消化器科	16	6.4%	眼科	9	3.6%
循環器科	9	3.6%	耳鼻咽喉科	8	3.2%
呼吸器科	8	3.2%	泌尿器科	2	0.8%
糖尿病科	4	1.6%	皮膚科	9	3.6%
脳神経科	1	0.4%	精神科	5	2.0%
外科	14	5.6%	歯科	45	18.0%
整形外科	15	6.0%	その他（施設含む）	13	5.2%
産婦人科	10	4.0%	計	250	100%

4. 患者紹介について

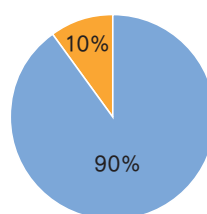
① 当院に患者を紹介していただいたことはありますか？

病院（n=28）



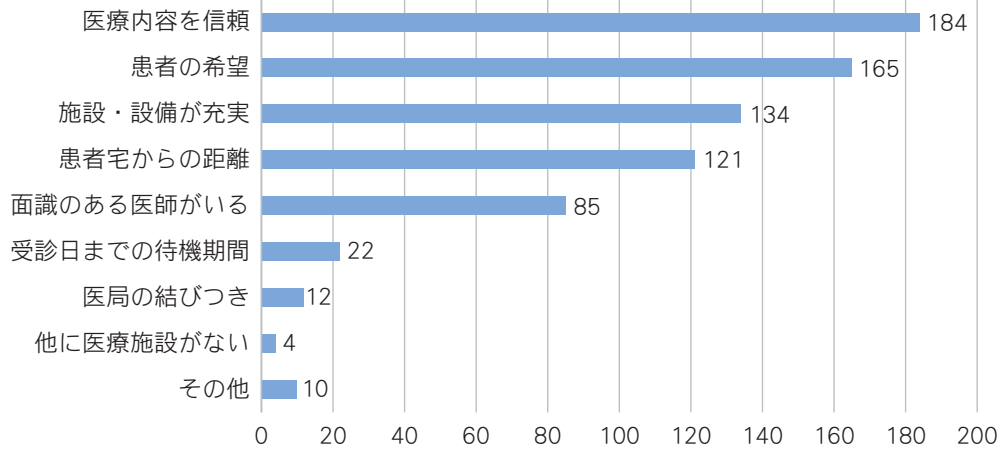
■ ある ■ ない

診療所（n=191）

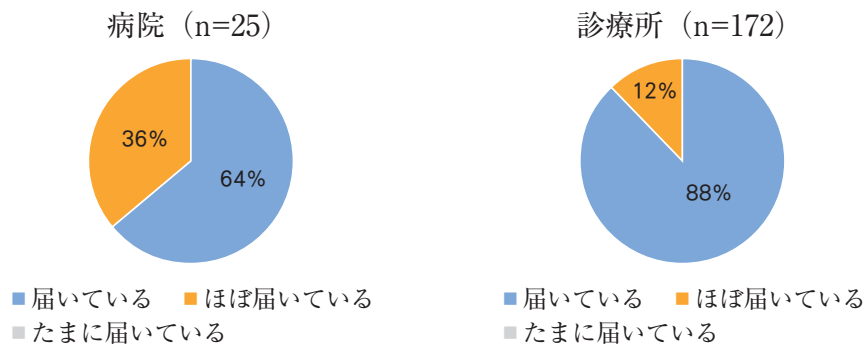


■ ある ■ ない

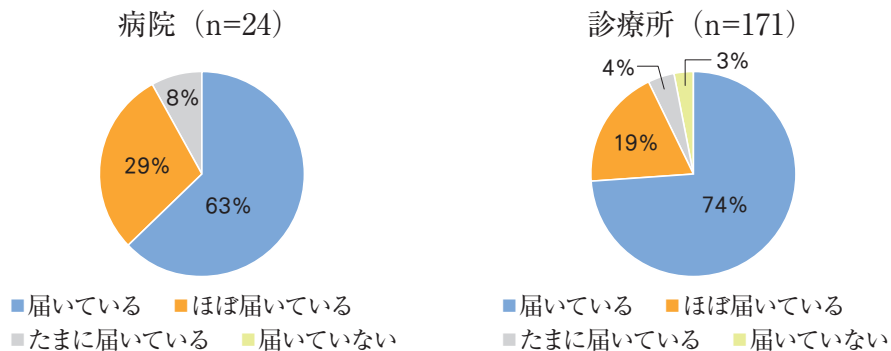
② 患者さんの紹介先を選ぶ際にどのような点を重視していますか？（複数回答可）



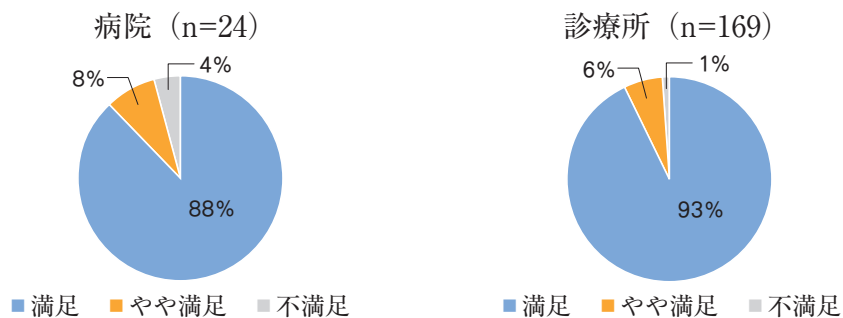
③ 紹介患者様が、初診来院した際の連絡は届いていますか？



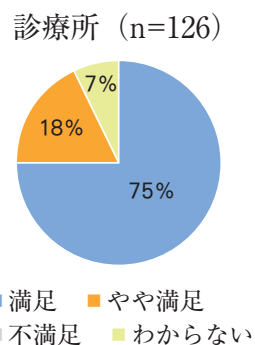
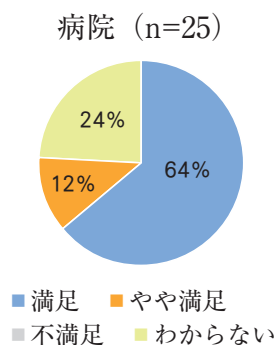
④ 患者様の結果報告は届いていますか？



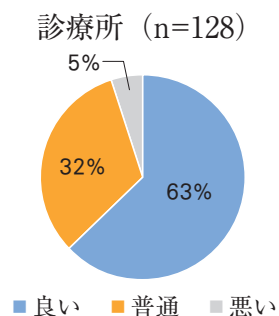
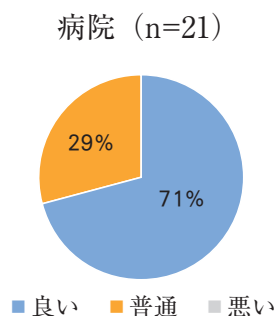
⑤ 結果報告書の内容はいかがですか？



⑥ 患者さまの当院に対する評価はいかがですか？

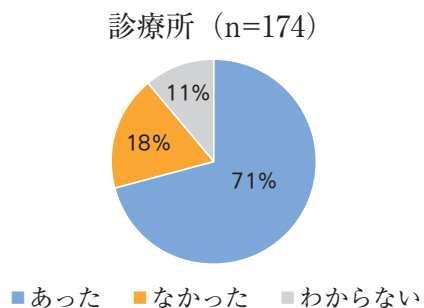
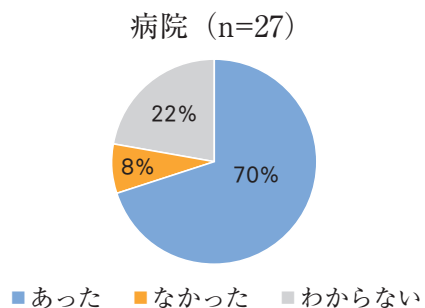


5. 当院の救急患者様の受け入れについてどう思われますか？

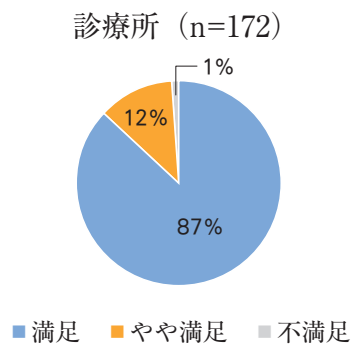
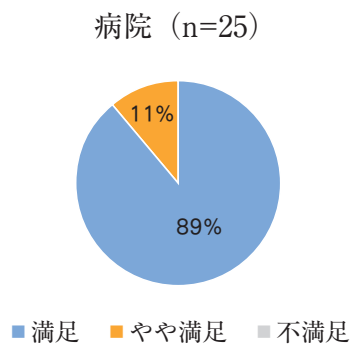


6. 逆紹介について伺います。

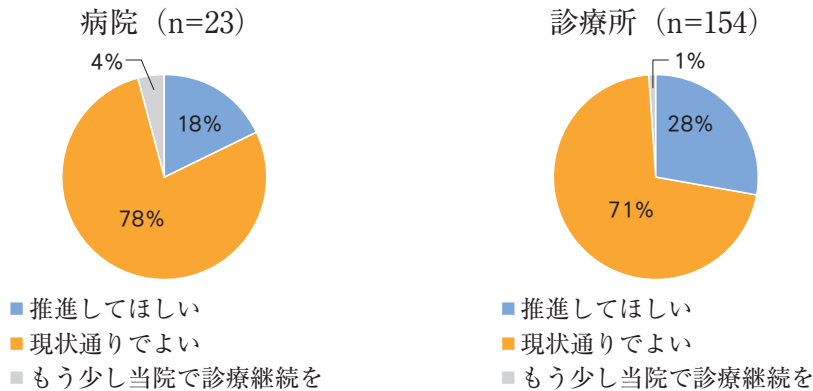
① これまで当院へ紹介した患者様の逆紹介がありましたか？



② 逆紹介時の情報提供の内容についてはいかがでしょうか？

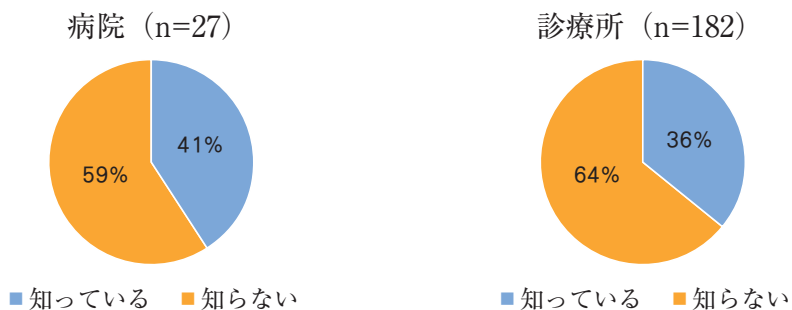


③ 当院からの逆紹介について、どのようにお考えですか？

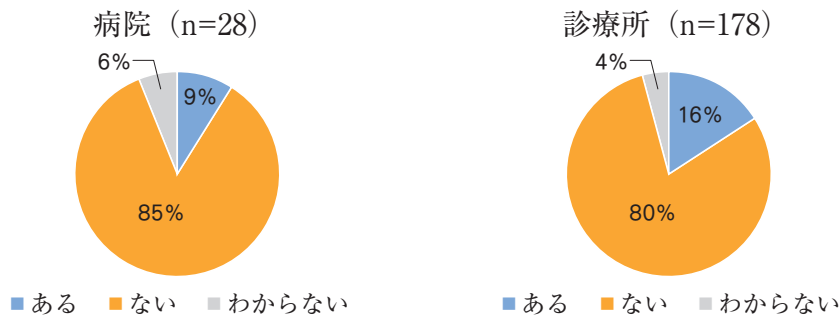


7. 医療機関の施設共同利用について伺います。

① 当院の放射線検査や生理検査機器の共同利用はご存じですか？

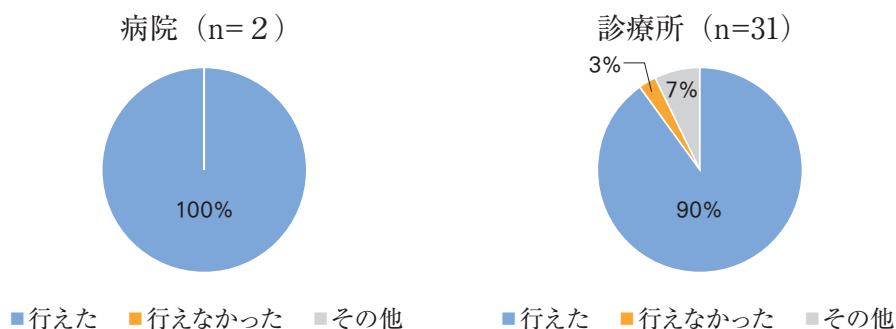


② 今までに共同利用をされたことはありますか？



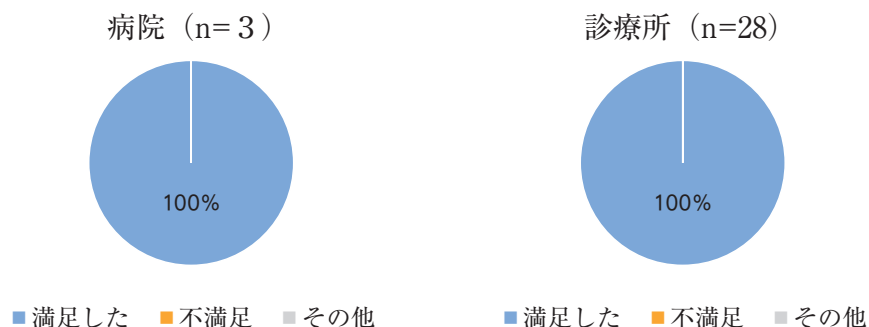
③ ②であるとお答えになった施設の方へ

● 検査の予約は円滑に行えましたか？



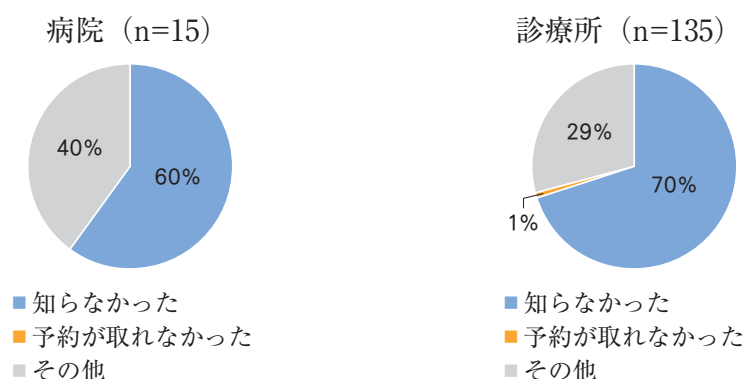
「我が故郷」、「輝くメディカルスタッフたち」はお休みさせていただきます。

● 検査には満足されましたか？



④ ②でないとお答えになった施設の方へ

● ご利用いただけなかった理由をお聞かせください。



総括

- 紹介先の選択で重視する要因としては、①医療内容への信頼感 ②患者の希望 ③設備の充実があげられた。
- 当院からの紹介状の返書については92%が書かれているが、8%に不備があり、今後の課題である。返書の内容についてはほぼ満足いただいていた。
- 紹介された患者さまの満足度では診療所75%、病院64%で満足を得られていた。不満足の原因としては診察までの待ち時間、医療スタッフの接遇の問題があげられた。
- 救急患者の対応としては、診療所では81%、病院では71%でよいと評価いただいた。不満足の原因としては、対応した際の電話での待ち時間、外科小児科領域でのお断り、受診時の医療スタッフの接遇の問題があげられた。
- 逆紹介については7割の施設で逆紹介をうけているという結果で、その際の情報提供についてはほぼ満足という結果であった。今後、さらに逆紹介を進めてほしい施設は病院で18%、診療所で28%のみで7割の施設が現状でよいと考えていた。
- 施設共同利用については利用しているご施設は病院で9% 診療所で16%であった。

今回のアンケート調査におきましては多数の施設のご協力がありましたこと、心より感謝申し上げます。たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の当院の病院経営や患者支援センターでの活動に生かしていきたいと考えております。今後とも患者支援センターの活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

患者支援センター長 下村 誠

出前！市民公開講座 開催報告

第282回 西睦合いいきいきサロン様

日時：11月19日（木）

講演：「美味しく食べる減塩食」

管理栄養士 小河 ゆか

西睦合集会場にて、感染対策に気を付けて開催しました。



第283回 久居巽が丘健康会様

日時：11月26日（木）

講演：「物忘れが気になったら」

脳神経内科医師 北川 長生

10月にグランドオープンした津市久居アルスプラザで行いました。



お知らせ

新型コロナウイルス感染対策のため、出前！市民公開講座は、当面の間は下記のような十分な感染対策をされている場合のみお受けいたします。ご了承ください。

例) 参加者の検温、アルコールによる手指消毒、マスク着用。

十分に換気のできる会場であること。

参加人数は会場の定員の50%以下で、十分なソーシャルディスタンスを保てること。

また、WEB環境が整っている会場であれば、リモートによる講演も可能です。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：059-259-1211 地域医療連携室 大澤、水谷

※出前！市民公開講座のメニューは当院ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.miechuo-hosp.jp/pdf/demae/siminkouza.pdf>

お詫言正

- 三重中央だより第101号において「うめだ皮膚科クリニック」様の情報に誤りがございました。お詫言正させていただきます。

診療受付時間	誤						
	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00~19:00	○	○	○	△	○	△	△

△：14:00~16:00

診療受付時間	正						
	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:30~18:30	○	○	○	△	○	△	△

△：14:00~16:00

「生命の駅伝」のランナーの皆様をお迎えしました



生命（いのち）の駅伝は、がん研究の重要性を伝え、その研究を支援するための募金活動を目的に毎年開催されており、ランナーがPRを行いながら三重県内29の市町を走ります。今年は、11月14日（土）から11月29日（日）までの日程で実施され、11月19日（木）に当院を訪問されました。

患者様や職員など多くの方から集まった募金が院長から贈呈され、ランナーの皆様と記念撮影を行いました。



「里山こころの便りー榊原の窓から」

自殺を防ぐために

警察庁による統計によると、全国の自殺者数はピークだった2003年の3万4千人から徐々に減少し、2019年には2万百人になっています。しかし今年は1月が1680人、2月1450人、3月1748人でしたが、8月は1889人、9月1828人、10月2158人と前半と比べて増えています。例年では一年の前半から後半にかけて緩やかに減少するのですが、今年は異なるようです。三重県でも1月が30人、2月23人、3月25人に対し、8月が35人、9月28人、10月39人と後半に向けて増えています。これはコロナウイルスの感染拡大が影響している可能性があるでしょう。感染予防のため行動を自粛して気分がすぐれなくなった、仕事がなくなり経済的に苦しくなった、家族と一緒に過ごす時間が長くなっていさかが増えた、などいろんなつらさが増えて自殺を選択したのではないのでしょうか。

人はつらくなると、悲観的に考えがちになります。それがまたつらさを増して悪循環にはまってしまうと、考えるゆとりが少なくなってしまいます。本来ならすぐそばに解決策があるはずなのに、見えなくなって「もうだめだ」と結論付けて自殺を選んでしまうのでしょうか。つらくなりすぎると、意識的に自殺を選ぶのではなく、無意識のうちに死んでしまうこともあります。

この悪循環は止めなければいけません。そのためには、信頼できる人と相談することです。一人で考えるより必ずいい知恵が出てきます。相談する人がいないと思ったら、三重県自殺対策推進センター（三重県心の健康センター内）に相談するのも良い手でしょう。ホームページを見ると、様々な困りごとに相談できるようです。決して悲観的な判断におちいらない様に、相談してください。



村田昌彦

榊原病院
院長





糖尿病看護認定看護師
谷口 朋子

こんにちは。専門・認定看護師です

シリーズ 25

●糖尿病と感染予防について●

糖尿病の方は、血糖値が高くなることで白血球や免疫に関わる細胞の機能が低下し病原菌に対する抵抗力が低下することがあります。また、糖尿病に合併する血流障害や人工透析を受けている方は感染の重症化に影響すると言われています。糖尿病の方は尿路感染症、呼吸器感染症、胆道感染症、皮膚の感染症、歯周病などにかかりやすく、糖尿病でない方と比べて重度の感染症を起こしやすいと言われています。感染症予防のためにはまず適切な血糖コントロールがとても重要です。新型コロナウイルス感染予防のために外出する機会を控えたところ体重が増え、血糖値が上がったと感じておられる方もいるかもしれません。まずは体重をまめに測定して増えてきていないかチェックしてみませんか。また、感染に早く気がつくように、ご自分の体調を気にかけて、身体の異常に早く気がついて、感染を早く見つけることが大切です。

「クローバー友の会」

会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は当会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

設立病院 三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。特典は変わることがあります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員証

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

編集 後記

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により社会の在り方が大きく変わりました。当院においても感染予防の観点から患者様をはじめご家族、関係者の皆様には大変ご不便をかけていると思います。

「予測困難なこれからの社会にいかに立ち向かっていくのか」を試されているような新年の幕開けとなりましたが、一日でも早く明るい話題をお届けできることを願って、未曾有のコロナ渦を乗り越えていきましょう。

(明)

発行所

三重中央医療センター

院長 田 中 滋 己

三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059-259-1211
<http://www.miechuo-hosp.jp/>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●

南産婦人科

ホームページ：<https://minami-sanfujinka.com/>



南産婦人科は1986年の開設以来今日まで妊婦さん、授乳婦さんやその他多くの女性のお役にたてるよう努力しております。

2014年には三重県産の木をふんだんに使用することにより、温かみがあり、心地よい施設が完成し、今まで以上に、スタッフ全員で皆様のお役に立てる環境が整いました。

当院では妊婦健診のほか、助産師による“たまご外

来”、マタニティピクスやマタニティヨガ、当院で出産された方を対象とした、ベビーマッサージ講習（予約）や母子のアフターピクス、ママヨガなどの教室も行っております。

三重中央医療センターをはじめとした多くの医療機関とも連携し、今後もより一層安心安全を心掛けた周産期医療をはじめとした医療を行うよう努めてまいります。

院長：南 仁人
住所：〒515-0043 三重県松阪市下村町1041
電話：0598-29-2020
診療科目：産科・婦人科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
16:00～19:00	○	○	○	△	○	△	△

お見舞い・面会時間 朝 10:00～夜 9:00

△土曜日午後診療時間 14:00～17:00

◆火曜日 3:00～4:00 は産後1ヶ月健診です

◆急患・分娩入院は、この限りではありません。

やまもと総合診療クリニック

ホームページ：<http://yamamoto-gpclinic.com>



令和2年10月1日に津市丸之内（旧小川医院）に開院いたしました。多くのご支援のもと、生まれ育ったこの地域でみなさまのお役に立てる機会をいただけたことに感謝し、大きな責任とやりがいを感じております。

当院は、内科・小児科診療をはじめ、在宅診療、各

種健診・がん検診、予防接種などを行い、病気の有無や年齢にとらわれない幅広い診療を特徴としています。またどこ（何科）を受診していいかわからないといった場合に、まずご相談いただく窓口としてお役立ていただけます。地域の医療・介護・保健に関わる方々と惜しみなく連携を図り、ご協力をいただきながら皆様が安心して暮らせる環境づくりに努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

院長：山本 政和
住所：〒514-0033 津市丸之内21-20
電話：059-253-6311 FAX：059-253-6312
診療科目：内科・小児科
休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00～19:00	○	○	△	○	○	△	△

あらき内科クリニック

ホームページ : <http://www.arakinaika-clinic.com/>



当院は津市半田にて長年にわたり地域医療を担ってこられた中屋医院の後を承継し、2020年4月より新たにあらき内科クリニックとして開院させていただきました。総合内科専門医として、ちょっとした風邪の症状、胃腸症状、めまい、ふらつきの症状、体調不良から、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の治療まで幅広く診療します。また、漢方薬の処方も行っています。健診等の異常値などもお気軽にご相談ください。三重中央医療センターの皆様には困難な症例を診て頂き大変お世話になっています。今後ともよろしくお願いいたします。

院長：荒木 裕登
住所：〒514-0823 津市半田平木202-5
電話：059-229-7227
診療科目：内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科
休診日：木曜日、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	▲	△

▲土曜日午後 14:00～17:00

いぐち内科・消化器内科クリニック

ホームページ : <http://iguchi-syoutakinaika.com/>



令和2年10月2日に久居新町で新規開業いたしました。高血圧・糖尿病・高脂血症などの一般内科診療と、腹痛・便秘・下痢などの消化器内科診療を行っております。当院では最新式の胃カメラ・大腸カメラを導入しており、きれいな画像により検査時間の短縮と病変の早期発見に役立てております。胃カメラは鎮静剤の使用や、鼻からの細いファイバーを用いることで苦痛の少ない検査が可能です。大腸カメラも鎮静剤を使用

することで、楽に検査ができ、小さいポリープであれば日帰りポリープ切除も行っております。

これからは三重中央医療センターさんと連携させていただきながら、この地域で一生懸命診療を行ってまいりますので、今度ともよろしくお願いいたします。

院長：井口 正士
住所：〒514-1118 三重県津市久居新町2115-8
電話：059-255-1241 FAX：059-255-1251
診療科目：内科・消化器内科
休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日
(水曜日午前は予約制の内視鏡検査を行っております)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:00	○	○	▲	○	○	○	△
午後3:30～6:30	○	○	△	○	○	△	△

▲：内視鏡検査（予約制）

※月火木金土も予約にて内視鏡検査を行っております。



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付
時間は8:30～11:00までです。

2021年1月1日現在

診療科名等			月	火	水	木	金
初 診 内 科 (初診・予約外)		1 診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】
		2 診	北出 卓【消】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】
		3 診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】
		4 診	内藤 雅大【呼】	宗吉 祐樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】 内藤 雅大
再 診 内 科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5 診				井端 英憲 (午後再診)	
	呼吸器内科	6 診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕
		(整形1診)		藤本 源			
		(呼吸器外科)	大岩 綾香(午前)				
	循環器内科	5 診	田中 淳子	川崎 敦		中久木 哲也 (午前再診)	福岡 秀介
	消化器内科	7 診	子日 克宣	北出 卓	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内 科	8 診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9 診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】
		10 診	坂倉 康正【呼】	内藤 雅大【呼】	内藤 雅大【呼】	奥田昌也(1、3週)【糖】	岡野 智仁【呼】
		(泌尿器1診)	宗吉 祐樹【糖】				
		(整形2診)		西村 正【呼】			
	腎臓内科 (内科6診)		村田 智博				
	肝臓内科	5 診			吉川 恭子(1,3週)【消】		
		(整形3診)					
ペースメーカーチェック		第1月 午後			吉川 恭子【消】		
脳 神 経 内 科		1 診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	林 理絵	北川 長生
		2 診	大内 智洋	賀川 賢	賀川 賢	賀川 賢	吉丸 公子
		心外		林 理絵			
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (NICUフォロー発達外来は予約のみ)	午 前	1 診	井戸 正流(初診)	小川 昌宏	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2 診	小川 昌宏	山本 和歌子		内菌 広匡	神谷 雄作(1、3、5週) 大森 あゆ美(2、4週)
		3 診	田中 滋己	櫻井 直人(初診)	大森あゆ美(1、3、5週) 北村 創矢(2、4週)	小川 昌宏	小川 昌宏
	午 後	4 診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
		1 診	NICUフォロー (支援)	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1、3週) 櫻井 直人(2、4週)	佐々木 直哉(2、4週)
		2 診	米川貴博 (1・3週) 内菌広匡 (2・4・5週)	NICU連携(1、3、5週)	佐々木 直哉(1、3週)	内菌広匡 (1、3、5週) 神谷雄作(2,4週)	成長外来
		3 診	小川 昌宏		小川 昌宏	小川 昌宏	シナジス外来
	4 診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子		
外 科	1 診	湯浅 浩行	下村 誠	松田 明敏	信岡 祐	谷川 寛自	
	2 診	信岡 祐	辰巳 亜依	谷川 寛自		湯浅 浩行(2・4週)	
緩和ケア外来 (予約・紹介のみ)							谷川 寛自
乳腺外科 (予約のみ)							石飛 真人
整 形 外 科 (予約・紹介のみ)	1 診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2 診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
形成外科					石浦 良平		
脳神経外科	1 診(初診)	石田 藤麿		谷岡 悟	田中 克浩	石田 藤麿(偶数週)	
	2 診(予約)		石田 藤麿		谷岡 悟	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科 (予約・紹介のみ)							藤本 昌志
呼 吸 器 外 科	1 診		安達 勝利		渡邊 文亮	安達 勝利	
	(脳外1診)		渡邊 文亮				
心臓血管外科			浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄
皮 膚 科(完全予約制)			中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子
泌 尿 器 科	1 診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2 診		西井 正彦		西井 正彦	西井 正彦(初診)	
	(整形1診)				武内 祐史郎		
産科・婦人科	午前	1 診(初診)	山口 恭平	前川 有香	矢嶋 秀彬	吉村 公一	道端 肇
		2 診(婦人科再診)	道端 肇	矢嶋 秀彬	吉村 公一	前川 有香	加藤 麻耶
		3 診(産科再診)			山口 恭平	柏原 優花	
		4 診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1 診(産科再診)	山口 恭平	前川 有香	山口 恭平	吉村 公一	道端 肇
		2 診(婦人科再診)	道端 肇	矢嶋 秀彬	吉村 公一	前川 有香	加藤 麻耶
		3 診		産後一ヶ月健診	矢嶋 秀彬	柏原 優花	婦人科検診
		4 診	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
眼 科(予約のみ)			三重大学医師	三重大学医師		三重大学医師	
耳鼻咽喉科	午前(初診)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田幸平 伊藤由紀子(2・4・5週)	西田 幸平	
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来				
放射線科 (7ブロック)			奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科			山口 敏郎	田中 雅		高北 久嗣	
歯科・歯科口腔外科	午前	柳瀬成章／若林宏紀	柳瀬成章／加藤英治	加藤英治／若林宏紀	柳瀬成章／加藤英治	柳瀬成章／三重大歯科医	
	午後		柳瀬成章／三重大歯科医			柳瀬成章／加藤英治	
看護外来 (予約のみ)			第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2・3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)
月・火曜日 午前診療	水曜日 午後診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・金曜日 午前診療	木・金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸・林)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門 (要予約・紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	ブレママ外来	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
金曜日 (10時～12時30分)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・木曜日午後 火・水・金曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(藤本)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(野呂)